



■ 「四方よし」

ロータリーコーディネーター補佐を務めて3年目になります。

1月は職業奉仕月間でロータリーの「五大奉仕」は次のように記されております。

「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」

職業奉仕月間では、職業奉仕の理想を日常実践するテーマに基づいて、多くのクラブで様々な取り組みが行なわれます。たとえば、会員企業を対象に社員表彰の場を設けたり、優れた活動をしている企業にスポットを当てて職場訪問や研修をおこなうなど、自社の状況把握や今後の新たな取り組みを考える時期だととらえているメンバーも多いのではないのでしょうか。

ご存知のように日本には江戸時代から明治時代にわたって日本各地で活躍していた近江商人が大切にしていた「三方よし」という文化があります。「売りよし、買いよし、世間よし」というすばらしい考えです。そして私の地区仙台では「三方よし」に「働きよし」を加えた「四方よし」という取り組みがスタートしました。現代社会において、非常に重要な要素を取り入れたものと高く評価していますが、翻って考えてみますと、ロータリーにおける職業奉仕はまさしくこの「四方よし」の理念に基づいて今日まで行っているものと言えます。

例えば会員相互における密接な情報交換や、奉仕活動や卓話などから市場の状況を把握し、企業活動に反映させることによって、地域の皆さんが求めている安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献できること、そして一番重要なことは、それぞれの企業で働く皆さん、つまり「働き手」が安定して仕事に取り組める職場づくりではないのでしょうか。

安定した職業を営むことは、原則的に営利を追求することにはほかなりませんが、「職業倫理」に基づくことによって、受益者が「自分だけ」、そして「自分の企業だけ」ではなく、仕事を通して如何に地域へ貢献できるか、それがロータリーの目指す職業奉仕であると思います。

昨今、世の中のスピード感は加速度的に進んでおります。我々ロータリーの取り組みも、時代背景に合わせなければならぬ場面が出てくるかもしれません。ただし、基本的な理念やこれまで積み重ねてきた歴史についても大切にしながら進まないことにはロータリーの精神が全くの別物になってしまう恐れがあります。会員各自が倫理と理念を追求し、職業奉仕を実践する為には、例会や事業、地区が行う研修や地域が行うセミナー等により多くの方々に参加して、会員相互の対話や意見交換を増やす事が重要になってきます。このようなことをクラブとしてアピールすることが公共イメージのアップにつながり会員増強が図られると思っています。是非、ロータリーの良さを地域の皆様に広めてまいりましょう。

第一ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 菅原 裕典(仙台泉RC)

■ 「自分自身を磨き仕事を磨く」

「公共イメージと認知度の向上」には、方法論と内容論が有ります。

方法論では、マスメディアの活用・ソーシャルメディアの活用・キャンペーンの実施・果ては人伝て迄も有ります。効果を考えるなら、マスメディアの活用が1番ですが、費用対効果や組織広報に多大な費用をかける事は是非等、議論すべき事が沢山あります。

そして、どのような媒体を使用しても伝えるべき内容を吟味すべきです。ロータリーの活動は多岐に亘っているので、伝えるべき点が明確になって居ないと効果が無いばかりではなく、かえって混乱を来すと考えます。これが内容論です。

伝えるべき点をクラブで、地区で話し合ってくださいと考えます。表現が短ければ短い程効果的でしょう。私は、ロータリー全体のどこでも活用できる「ロータリーの目的」を短く表現したものが良いと考えています。

画像はロータリーの目標を世間の方々に解り易く伝える為に、2570地区で作ったシートです。参考に供します。しかし、押しつけはしません。

ロータリーの目標の第1項は「貴方も参加しませんか？」で表しています。

ロータリーの目的の第2項は「自分自身と自分の職業を磨きながら」で表しています。

ロータリーの目的の第3項と第4項は「地域や国際社会に奉仕する」で表しました。

扱、「ロータリーって何？」のシートの中に

「自分自身を磨く」とあります。「自分自身を磨く」事は自分の職業を磨く事の大前提であると思っています。自分を磨かずして自分の仕事(まして社員)を磨く事は出来ません。「自分を磨くとは、自分の人格を高める事、徳望を身に着ける。」事で、高学歴とか高収入という事ではありません。具体的な行動の基準は「ロータリーの戦略計画」にある5つの中核的価値観にあるとも思っています。「奉仕」と「親睦」は誰でもわかっている事です。

「高潔性」、「多様性」、「指導力」についてクラブで話し合ってください。

「ロータリーって何？」のシートの中に、「仕事を磨く」と表現しました。

先ずは、自分の仕事(会社の事業等)が「地域の役に立つ仕事をする。高潔性を念頭に。」という事であると思っています。事業経営で「売り上げや利益を大きくする事」は大切な事ですが、それだけではないと考えています。地域で「お客様が必要としている」事業を行う事が大切であると常日頃考えています。

その結果、利益も上がり、会社も有名になって来るでしょう。間違っても「有名な会社(上場企業)にする事」が目標ではないと考えます。



ロータリーって何？

自分自身と自分の職業を磨きながら
地域や国際社会に奉仕する団体です
あなたも参加しませんか？

Rotary

第一ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木 秀憲(吹上RC)